

## 表紙の図について

### 「地下鉄名古屋大学駅構内に電子掲示板設置される」

さる4月5日に、名古屋大学の広報用ディスプレイが、地下鉄名城線名古屋大学駅構内に現れました。改札横の目に付くところに、60インチサイズの両面の液晶ディスプレイが設置されたので、地下鉄駅を利用される方の目に必ずとまります。画面上には、大学のイベントの案内、附属図書館や博物館の催し、キャンパスでのスナップショット、地下鉄出口の地図の案内などが表示されています。固定した表示と、一定時間で切り替わる表示があることに気がついておられるでしょうか。

このディスプレイの設置は、広報室（広報委員会）が企画し、名古屋市交通局との折衝を経て実現したのですが、システム設計と設置・運用に当たっては情報連携基盤センターが積極的に協力しています。コンテンツの管理・提供を広報室が、セキュアで安定したサービスの提供のためのシステム運用を情報連携基盤センターが行います。

ここでは、簡単にシステムについてご紹介します。このシステムは、情報連携基盤センターに設置されている専用ウェブサーバ、地下鉄駅内の専用クライアントPC、及び、2つの大型ディスプレイからなっています。これら2台のコンピュータは、NTT Bフレッツ回線を使ってVPN（Virtual Private Network）接続により直結されています。サーバのコンテンツの更新は、XML技術を用いて、名古屋大学ポータルを通じて入力されたイベント情報などが自動的に配信されます。動画の表示も可能なため、今後、コンテンツやデザインが充実していくのが楽しみです。

なお、夜9時～朝6時は、電力節約のため大型ディスプレイの電源はオフになります。

（名古屋大学情報連携基盤センター：間瀬健二 梶田将司）

（表紙デザイン協力 大学院情報科学研究科 西 聡子）